

# 神戸女学院大学

## 人間科学部 心理・行動科学科

### 精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第4号

#### 4回生による精神保健福祉援助実習 実習報告会を開催しました！



12月3日(土)、4回生3名による精神保健福祉援助実習 実習報告会が行われました。

今年度は初の試みとして対面×Zoomのハイブリッド型を導入。そして、実習指導者の先生方にもお声掛けさせていただき、対面・Zoom両方からご参加いただきました。

実習報告会終了後は、OG生、3・4回生の養成課程学生、教職員とで3年ぶりに交流会を開催しました。3回生から4回生へは就活のアドバイスや実習の悩み等、実習報告会とは異なる近い距離感で交流することができました。また、OG生へ実際の業務についてリアルに聴くことができる時間となりました。



#### 4回生への質疑応答(一部ご紹介)

Q1:【実習生だからこそできる介入】とは具体的にどんな介入だと考えられましたか？

A1:利用者の方の良いところを挙げる。例)休み時間に話した内容を私には挙げる事ができる  
対等な立場で話が出来たことから、その方のストレングス(強み)を広げることができたと思う。

Q2:実習を通して支援者には何を求められていると感じましたか？

A2:利用者の方に言われたことをその通りする、問題解決をするのではなく、希望する生活に近づくように一緒に協力していくことが求められていると感じた。



4回生の実習発表後は、OGゲスト講師として倉見さん(13期生 ヤンマーシンビオシス株式会社・精神保健福祉士)と原田さん(18期生奈良市役所・精神保健福祉相談員)をお招きしました。

実際の業務や仕事をする上で大切にしていること、就活などをお話いただきました。質疑応答の時間が足りないほど、在学生からたくさんの質問が寄せられました。今後も実習報告会が、現場で活躍されているOGのみなさんと在校生との繋がりを持てる良い機会になれば嬉しく思います。

#### 学生からOG講師への質疑応答(一部ご紹介)

Q1:前職の時から大切にされていることに変化はありますか？また今後大切にしたいことはありますか？

A1:前職で大切にしていた【“専門職”ではなく“1人の人間”として関わる】は、今は対人援助の大前提として認識している。10年以上経験を積んだ今も、社会人1年目と同じ感覚ではいけない。今は、学び続けることを怠らず知識の幅を広げ、“専門職”として会社のニーズに応えられるよう準備しておくことが大切だと思っている。

Q2:(実習に行くまでPSWとして働くか決めていなかったとお話から)病院や事業所ではなく、行政で働くことを決めたいきっかけは何ですか？

A2:病院も考えていたが、広いフィールドで関わってみたい気持ちがあった。今は行政のPSWで良かったと思っている。

大変お忙しい中、ご参加くださいました実習指導者の先生方、OGのみなさまに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。